

令和4年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	地域文化創造(芸術文化)【美術】	科目名	美術科教育学	受験番号	
---------	------------------	-----	--------	------	--

※ 以下の問いに対する解答は、別紙解答用紙に問題番号を付記し分かり易く記述すること。

- 1 以下の文章は、平成29年告示中学校学習指導要領第6節美術の第1「目標」に記されている中学校美術科の目標である。この目標を読み、(1)(2)の問いに答えなさい。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

- (1) 改訂前(平成20年告示)の美術科の目標と比べると、記述の仕方が大きく変わった。今回の改訂における目標設定上の改善点は何か。また、この目標から読み取れる、美術科で育成すべき資質・能力に対する考え方の改善点はどんなことか。簡潔に記述しなさい。
- 目標設定上の改善点
 - 育成すべき資質・能力に対する考え方の改善点
- (2) 目標の文章の中に「造形的な見方・考え方」とあるが、「造形的な見方・考え方」とは何か。またそれを働かせるとはどのようにすることか。簡潔に記述しなさい。
- 造形的な見方・考え方とは
 - 造形的な見方・考え方を働かせるとは
- 2 一般の学習指導要領の改訂において、これまで小学校図画工作科、中学校美術科に設定されていた「共通事項」が高等学校美術科にまで拡充され設定された。「共通事項」とは何かを説明するとともに、高等学校美術科(芸術科すべてに新設)にまで拡充された意図について、簡潔に記述しなさい。
- 3 学校における各教科の指導において、「言語活動」の充実が求められている。「非言語教科」である美術科においても例外ではない。なぜ、美術科においても「言語活動」の充実が必要なのか。その理由と、「言語活動」の充実を実現する方策について、あなたの考えを具体的な事例を挙げて記述しなさい。
- 新設の理由
 - 具体的な方策